

量子コンピューティング促進事業

協賛申込みのご案内

時代を革新する量子コンピューター

1. 量子コンピューターとは

量子コンピューターは量子力学という究極原理を直接利用するコンピューターで、スーパーコンピューターを凌駕するものです。近年急速に開発が進み、一部の計算では実際にスパコンを超えています。今後広範囲の問題への適用が期待されます。

2. 量子コンピューターが拓く未来

量子コンピューターそのものの開発と相俟って、新しい使い方の発見や他分野との融合も急速に進んでおり、基礎研究は言うまでもなく、金融・物流・創薬・AIと結びつくなど、社会のあらゆる分野に革新をもたらす未来が待っています。

3. なぜ今量子コンピューターか

量子系に自然に備わっている「超並列性」や「エンタングルメント」を利用して桁違いにエコな計算が可能な省エネシステム 量子コンピューター。そのフラッグシップ機が日本に設置され東京大学をゲートウェイとして使えます。あなたも量子コンピューターを使ってみませんか？

4. 量子コンピューターに寄せる期待 JSR株式会社

量子コンピューターに期待している点の一つは、分子の振る舞いを厳密にシミュレートすることです。これにより、実験ではわからない分子の振る舞いを明らかにすることができ、材料の開発方法が大きく変容すると考えています。

●量子イノベーションイニシアティブ協議会 (QII) での会員区分

(金額は税込)

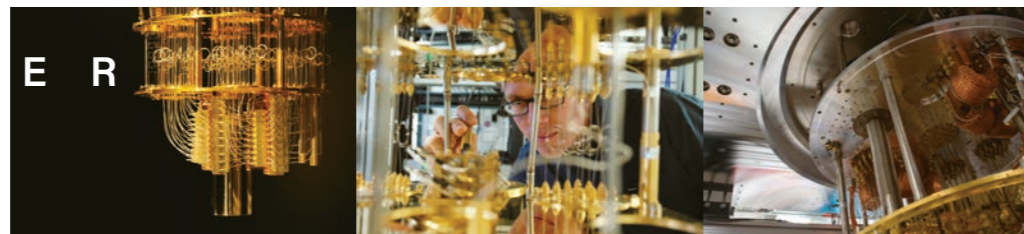
会員区分	年会費	特典
正会員	正会員 共同研究契約等 5,000万円以上/年	【特典】 (協賛事業の特典含む) 1) IBMQへのアクセス権保証 2) 大学教員等による共同研究 (本学教員のアクセス権有) 3) 幹事会への参加 4) IBMQ NETWORKに登録
準会員	協賛事業 協賛金 一口300万円/年	【特典】 1) 総会への参加 2) セミナー・シンポジウム等の聴講 3) 量子関係研究領域の学術指導、共同研究等にかかる助言・ガイダンス 4) 東京大学による広報活動 5) 会員による広報活動
	学術指導 1,000万円から/年	【特典】 (協賛事業の特典含む) 1) 東京大学、慶應義塾大学にてIBMQ利用の見学が可能 2) 大学教員等によるコンサルティング
	共同研究 (アクセス権無) 共同研究契約等 2,000万円から/年	【特典】 (協賛事業の特典含む) 1) 共同研究 (アクセス権無) 2) 共同研究契約等 3) 東京大学、慶應義塾大学の大学教員等によるIBMQを利用した共同研究の実施 (アカウント・ID無)

※お申込みいただいた法人等は、量子イノベーションイニシアティブ協議会の会員となり、東京大学と「量子イノベーションイニシアティブ協議会協定書」を締結し、これを遵守いただきます。

関連リンク

- 量子イノベーションイニシアティブ協議会 : <https://qii.jp/>
- IBM東大ラボ : <https://itl.adm.u-tokyo.ac.jp/>
- 量子イニシアティブ : <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/fsi/ja/projects/quantum/>
- 量子ネイティブ育成センター : <http://qnec.jp>

QUANTUM COMPUTER



量子コンピューター
その限りない可能性



Q U A N T U M C O M P U T E R



ご挨拶 Greeting



東京大学 工学系研究科 教授
IBM 東大ラボ長
川崎 雅司
Masashi Kawasaki

エコでセキュアなデータハンドリングは、デジタル化や炭素中立などの中核的課題を克服してこそ実現するSociety5.0に必須の要件と考えられています。その切り札となり得るのが量子コンピューターをはじめとする量子技術の社会実装です。IBM-東大ラボでは、IBM社とのパートナーシップのもと、最新鋭量子コンピューターを活用した産業界との共同研究を推進するとともに、ハードウェア実機を用いた共同研究を推進し、量子技術の社会実装を加速します。

多くの企業・団体の参加を得て、日本独自の量子技術の発展に寄与してまいります。力強いご支援を賜りますようお願いいたします。



日本アイ・ビー・エム株式会社
代表取締役社長
山口 明夫
Akio Yamaguchi

IBM東大ラボの発足をたいへんうれしく思います。

2019年12月に発表した Japan-IBM Quantum Partnership に基づき、当社は東京大学と密接に連携し、日本が世界に先駆けて量子コンピューターを社会に実装するため、産官学の枠を超えた取り組みを進めています。

本年、国内専用の量子コンピューター IBM Q System One が導入され、東大内に周辺装置開発センターが稼働します。量子コンピューティングによる実用的なアプリケーション開発、および低温環境下での基礎的な実験や測定が可能になります。

当社は IBM東大ラボでの活動を通して量子コンピューティングの可能性を最大限引き出し、気候変動やエネルギー、医療の分野をはじめとする大きな社会課題の解決に貢献できるよう尽力してまいります。



東京大学 IBM東大ラボ 量子コンピューティング促進事業

協賛申込みのご案内

1 | 募集内容 | 本事業の趣旨に賛同し、ご参加いただける法人等を下記の通り募集いたします。

協賛事業

協賛金：一口 300万円/年（税込）

【特典】

1) 総会への参加

2) セミナー・シンポジウム等の聴講

大学教授等の講演、企業研究者による発表の聴講。

3) 量子関係研究領域の学術指導、共同研究等にかかる助言・ガイダンス

4) 東京大学による広報活動

東京大学は、関係する会員と事前協議の上、量子イノベーションイニシアティブ協議会のホームページや活動を通じて、量子イノベーションイニシアティブ協議会の活動に賛同いただいていることをPRします。

5) 会員による広報活動

会員は、東京大学又は関係する会員と事前協議の上、協賛金納付日の翌日から退会まで、量子イノベーションイニシアティブ協議会の活動に賛同していることをPRすることができます。



IBM東大ラボ/量子コンピューティング促進事業にご参加を

IBM東大ラボは、量子コンピューティングにおける日本の研究開発力の強化を目指し令和2年6月に東京大学内に設置されました。IBM社との提携事業（Japan-IBM Quantum Partnership）により、超電導ゲート型の量子コンピューター実機を導入し、日本の産業界、学術機関、研究機関との戦略的な協業により、日本における量子コンピューターの利活用技術を開発するとともに、量子コンピューターの社会実装を世界に先駆けて実現するため、当該技術に関わる産学官の協力促進、相互の情報交換により、我が国全体のレベルアップと実現の加速を図っております。

事業の目的

量子コンピューティングを実現する科学技術を日本国内に集結させ、量子コンピューティングのためのエコシステムを構築することで日本における経済的機会を促進し、またそのアルゴリズムおよびアプリケーションの研究開発により、将来に至る社会課題の解決と、その研究を以って広く産業に貢献することを目的としています。

上記の目的にご賛同いただき、ぜひ多くの企業、学術・研究機関の皆様にご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

2 | 募集期間 | 令和7年4月末までにおいて随時受付

3 | 提出書類 | 東京大学協賛申込書及び企業概要
(提出にあたっては、事前に下記の「問合わせ先」までご連絡ください)

4 | 納入時期 | 東京大学協賛申込書受領後、東京大学より請求書を送付します。会員は、請求書記載の期日までに指定の銀行口座へ振り込むものとします。

5 | お問合わせ先 | 東京大学産学協創部協創課
TEL.03-5841-4789 (電話対応時間:9:30~12:00、13:00~17:00 土日祝除く)
Email: kyoso-info.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp



※ご応募の方法、会員資格等の規定についての詳しい内容は、上記にお問合わせをいただくか、ホームページをご覧ください。